

平成 29 年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

| | | |
|------|--------------|--------|
| 事業名 | 地域の子育てサポート事業 | |
| 事業主体 | 実施団体 | 市（関係課） |
| | 子育てサポートクラブ | 子育て支援課 |

| | | | |
|-----|-----------|-----------|--------------|
| 事業費 | 予算額 | 決算見込額 | 市補助金額（交付決定額） |
| | 410,000 円 | 443,805 円 | 300,000 円 |

【 ①目的・課題について 】

次の事項がわかるように、事業概要を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施したか。

28年度より会員募集を開始、提供会員の24時間講座の全課程修了者が少なく、需要と供給のバランスが悪くなっている。事業開始して間もないため、利用会員数はまだ多くはないが、今後、認知度の向上などによって利用者数の増加が見込まれる。特に、提供会員と利用会員の利用したい時間帯が合わず、活動出来る提供会員に偏りがあるので、今後は朝・夕に活動出来る提供会員の増員を図る必要がある。会員数は100人を目標に勧誘する。

①会員の勧誘と登録

通年とおして会員登録の申し込み随時受け付け。チラシを地区回覧したり、公共の施設に設置したり、幼稚園・保育所・学校などに配布し周知した。このシステムの説明は、アドバイザーの在中する月・木曜に基本来所して行った。平日に来所できない方には、訪問して行う事もあった。

②会員相互の交流会開催

6月25日と2月10日の2回 全体交流会を開催

6月は、簡単なおやつを親子・提供会員と一緒に作って楽しんだ。

2月は、竹のスリットドラムと手作りマラカスでリズム遊びを行った。

マラカスをひとり2本提供会員や利用会員も子どもと一緒に制作、その後竹のスリットドラムとコラボして歌に合わせて音を出して楽しんだ。スリットドラムの制作者にも来ていただき楽しい交流会になった。

③子育てサポーター養成講座開講（12回）とフォローアップ講座の開催

子育てサポーター基礎講座

7月14日・21日、8月22日・25日、9月5日・8日の6日間で、12講座24時間の講習を実施、7月までの提供会員の申し込み者3名と、昨年度までに修了していない提供会員が出席

講師 小規模保育事業所エンジェルハートナーサリー代表 保育士 緑川美穂子氏

児童発達支援管理責任者 野花の会代表 野口よし子氏

精神保健福祉士 吉川厚子氏 看護師 松本幸子氏 市職員栄養士、保健師

9月8日は南消防署の署員による普通救命講習会を実施、その後提供会員相互の交流を昼食会を兼ねて行う。交流会の参加者は10名程度と少なかったが、両方会員の方も来ており、活動している方、利用している方双方のお話しが聞く事が出来て良かった。

フォローアップ研修 6月25日、2月10日に実施

6月 テーマ「子どもの食事 何が大切?～食育って何だろう～」

市内在住の管理栄養士 真瀬泰子氏

2月 テーマ「発達障害の理解 一体験と事例を通じて」

千葉県発達障害者支援センター相談員 臨床心理士 神田一起氏

フォローアップ研修は本来提供会員のスキルアップのために行うのですが、どちらの会も内容的に利用会員の方にも聞いて欲しいと思い、全会員に周知。又、一般の方も参加出来るようにした。特に2月の研修は、学童保育や放課後子ども教室の関係者にも参加を呼びかけた。その結果、会員外の方も数名参加してくれた。

④アドバイザー講習会・交流会に参加

10月19日(木) 一般財団法人女性労働協会主催全国アドバイザー講習会・交流会参加

参加者：代表 鶴澤 アドバイザー 是松

全体テーマ『いま、ファミリーサポートセンターにおける事故防止と事故対応の取り組み』

～より安全に、より安心な活動を目指して～

1 子育て援助活動支援事業の現状について報告 厚生労働省子ども家庭局 子育て支援課 職員より

2 基調講演 講師 梶浦 勉 先生

3 講演+グループワーク「ファミリーサポートセンターが行うべきリスクマネジメントとは」

「全国175ヶ所の市町村から直営・委託で活動するファミリーサポートセンターが集結。活動時に起こりやすいリスクと、未然に防ぐための視点と対応を学びました。都市部と違って公共交通機関の少ない地方のファミサポでは、送迎等の援助活動に自家用車を使用せざるを得ません。自宅でお預かりする場合の事故のリスクに加えて、交通事故や乗降時の思いがけないケガなどにも細心の注意が必要であると、改めて感じました。「起こりうる」と意識し、未然に防ぐ行動をとること=KYT(危険予知訓練)の重要性を、提供会員の皆さんにお伝えしていきたいと思います。」以上、キラのび通信で、会員に報告した。

⑤キラ★のび(子育てサポート)通信を発行し、活動を周知する

年2回、6月と2月に発行した。会員に郵送で送る他、地区回覧を行い、市民に活動を周知した。

フォローアップ研修など一般の方も参加出来る講座に、会員外の方から申し込みがあり、回覧の効果があった。

⑥アドバイザーによる、利用会員と提供会員のマッチング

利用会員のニーズに合わせて、提供会員を探し、事前打ち合わせを行った。又、1ヶ月毎に提供会員が揚げてくる報告書のまとめを行った。

【 ②企画・効果 】

次の事項がわかるように、成果を記入してください。

- 事業の内容が具体的で目標達成に向けて適切だったか。
- 協働で行うことでどのような効果が得られたか。
- 住民の満足度は得られたか。 ○他の団体との連携や協力により効果をあげたか。
- 事業を行うことで、市民や地域、他の団体への波及効果（広がり）はあったか。

事業内容は、充実していたと思うが、会員が目標値の100人は達成出来なかった。利用会員は常に問い合わせがあるが、提供会員になってくれる方が少ない。やはり、子どもを自宅で預かることの不安、24時間の講習を受けなければならない事など、リスクが高いと思われる。その部分を払拭するような勧誘が上手にできなかったと反省する。

市との協働で行う事が出来たのは大変良かった。本来27年度迄に市が立ち上げる事業であったのが31年度までに延期された。市民が本当に必要としている事業であることを確認出来たこと、予定の31年度を待たずして30年度から市が直営で事業化を考えるように導くことが出来たことは、市民として大変良い効果を得られたと思う。

子育て中で共働きやシングル家庭の方は、大網白里市でもようやく始まったと喜んで利用会員に登録してくれた。提供会員も、自分の空いている時間に手助け出来る事ならと登録してくれた。一時保育などに申し込めなかったときに、保育所から紹介をされて登録に来られた方がいた。最近では学童にあぶれたのでと駆け込んで来られた方がおり、こちらも毎日では金額的にも大変になるだろうと、生涯学習課に放課後子ども教室の申し込みが出来るか問い合わせたりと、他団体との連携は取れたと思う。

利用会員は、口コミでも広がっていくのだろうが、提供会員はなかなかの方がいない。ただ、保育園の先生をしている方から、基礎講座を土日にしてくれると、協力出来るんだけどとの意見があった。資格のある方でもこの事業の意味や意識を統一することが大切なので、とりあえずは基礎講座を受講してもらわなくてはいけないので、この意見は今後の活動において重要かも知れないと思った。来年度以降は市が行うので、きちんと引き継ぎたいと思う。

又、茂原市の子育て支援課から、これから事業化したいが、どうしたらよいかと、何度か問い合わせがあり、熱心な担当者が基礎講座のDVD受講もしたいと来られた事があった。

協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

| 団 体 | 市 (関係課) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 市の事業として継続出来たことは大きな成果となった。 | <input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) |

【 ③実行力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

| 団体の役割 | 市 (関係課) の役割 |
|--|--|
| 会員への勧誘、説明、登録 基礎講座、普通救命講習の実施 講師・消防署へ依頼 欠席者のための補講 (DVD 受講) の実施 フォローアップ研修の実施 会員相互の交流会開催 周知のためのチラシ作成・配布 キラ★のび通信の発行、周知 利用会員のニーズと提供会員のマッチング 提供会員の活動のまとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポートクラブの活動周知。 ・保育所事業、学童保育事業等を通して、子育てサポートクラブの利用がニーズに合うと思われる者に対して、同活動の紹介。 ・提供会員の基礎講座 (援助を行う会員に対する、保育に関する講習) の講師依頼、会場確保等を行った。 |

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

| 団 体 | 市 (関係課) |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input checked="" type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 基礎講座やフォローアップ研修などへの運営に、市の職員に関わってもらっても良かったのではないかと思う。特にフォローアップ研修は、職員は見学にも来なかったのだ。 | <input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) |

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容 (実績) を詳細に記入してください。

| 当初の計画 | 実 績 |
|---|--|
| 4月 利用会員・提供会員・両方会員 随時募集 (年間通して) 第2月曜日10時～入会説明会開催 (毎月) リーフレットを新入生用に配布 (保育園、幼稚園、小学校) コーディネート事業 (年間通して) 5月 広報紙作成・発行 6月 フォローアップ研修・交流会開催 7月 提供会員の基礎講座開始 ①「保育のこころ」2時間 ②「心の発達と保護者のかかわり」2時間 ③「障がいのある子の預かりについて」2時間 ④「身体の発達と病気」2時間 | 4月 利用会員・提供会員・両方会員 随時募集 (年間通して) 第2月曜日10時～入会説明会開催 (毎月) リーフレットを新入生用に配布 (保育園) コーディネート事業 (年間通して) 基礎講座欠席者のための補講は随時実施 28年度3月発行の広報紙回覧、周知 6月 広報紙作成・発行、回覧、周知 フォローアップ研修・交流会開催 7月 提供会員の基礎講座開始 ①「保育のこころ」2時間 ⑩「子どもの栄養と食生活」3時間 ②「心の発達と保護者のかかわり」2時間 ③「障がいのある子の預かりについて」2時間 |

| | |
|---|---|
| <p>8月</p> <p>⑤「小児看護の基礎知識1」2時間</p> <p>⑥「小児看護の基礎知識2」2時間</p> <p>⑦「事故による子どもの傷害」2時間</p> <p>⑧「子どもの生活へのケアと援助」2時間</p> <p>9月</p> <p>⑨「子どもの遊び」2時間</p> <p>⑩「子どもの栄養と食生活」3時間</p> <p>⑪「子育て支援サービスを提供するために」3時間</p> <p>会員の交流会・フォローアップ講座開催 講座修了証交付申請</p> <p>10月</p> <p>アドバイザー講習（東京）</p> <p>基礎講座欠席者のための補講は随時実施</p> <p>1月</p> <p>フォローアップ研修・交流会開催</p> <p>2月</p> <p>広報紙作成・発行</p> <p>3月</p> <p>利用状況等年間の記録を集計</p> | <p>8月</p> <p>④「身体の発達と病気」2時間</p> <p>⑦「事故による子どもの傷害」2時間</p> <p>⑤「小児看護の基礎知識1」2時間</p> <p>⑥「小児看護の基礎知識2」2時間</p> <p>9月</p> <p>⑧「子どもの生活へのケアと援助」2時間</p> <p>⑨「子どもの遊び」2時間</p> <p>⑪「子育て支援サービスを提供するために」3時間</p> <p>普通救命講習会 提供会員交流会</p> <p>10月</p> <p>全国アドバイザー研修会（東京）</p> <p>1月</p> <p>広報紙作成・発行、回覧、周知</p> <p>2月</p> <p>フォローアップ研修・交流会開催</p> <p>3月</p> <p>利用状況等年間の記録を集計</p> |
|---|---|

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

| 団 体 |
|---|
| <p><input type="checkbox"/> 適正であった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり適正でなかった</p> <p>(理由)</p> <p>基礎講座の順番は、講師の都合と合わせてなので、入れ替わりましたが、おおむね予定通り出来たと思う。</p> |

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

また、2年目、3年目の事業については、1年前、2年前と比べて、事業を継続したことで得られた効果も記入してください。

国の施策で行政が行うべき事業であったので、行政が前向きに考えてくれ、30年度から市が直営で行う事業に組み込めたことは、3年間継続してきて良かったと思う。

また、その結果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体

- 強化、活性化した
- 概ね強化、活性化した
- あまり強化、活性化しなかった

(理由)

市が行うべき事業を、公約通りに31年度までに実現出来た事、その手助けになれたことは結果として効果を得られたと思う。開始当初から、市が実施するか他の民間委託になっても、移管できるように実施するとしていたので、市直営で行う事に異論はありませんが、命を預かることのリスクは高いけれども、どんな団体に引く継ぐ事になったとしても、民間委託で行なった方がこの事業の活性化につながるのではないかとも思われる。しかし、民間委託という考え方に至らなかったことは、私たちの力不足なのか、市民を信用していないのか、悩ましいところではある。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

| 団 体 |
|---|
| <p>何度も同じ事の繰り返しですが、国の施策で行政が行うべき事業であったので、行政が前向きに考えてくれ、30年度から市が直営で行う事業に組み込めたことは行政サービスの向上につながると思われる。</p> <p>今後市がこの事業をきちんと継続し、市民が住みやすい市と思えるように、今後の発展を希望する。</p> |
| 市 |
| <p>本事業のように、市民のニーズに個別的、直接的に答える事業については、住民協働の形を取ったことで、より利用者の立場に立って柔軟に対応できたのではないかと感じる。</p> |

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

| 団 体 | 市 (関係課) |
|--|--|
| <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p> <p>効果は出たが、民間でやるより市が行った方が効果があったとみせていただけることを期待する。</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p> |